

新型コロナウイルス禍に学ぶ応用物理 未来社会に向けて

主催 応用物理学会、日本学術会議 未来社会と応用物理分科会

日程 2021年3月17日(水) 13:00~18:00

場所 Z01会場(オンライン開催)

「はじめに」

波多野 睦子 (東工大/応用物理学会会長)

「呼吸器感染症を引き起こす新興ウイルスの検査診断」

影山 努 (国立感染症研究所)

「ウイルスの観察技術と治療法開発への応用」

南保 明日香(長崎大)

「創薬を目指したSPring-8/SACLAの構造生物学研究」

山本 雅貴(理研)

「PCR法による検査(原理)」

永井 秀典 (産総研)

「AIによる医用画像診断支援」

藤田広志(岐阜大)

「COVID-19診断とバイオセンサ研究」

民谷 栄一 (産総研/阪大)

「ナノポアと機械学習を用いたウイルス検査」

筒井 真楠 (阪大)

「深紫外光の医療応用とウイルス不活化」

青柳 克信 (立命館大)・黒瀬 範子 (精神・神経医療研究センター)

「新しい生活様式を快適に過ごすためのモバイル技術」

藤野 弘行 (NTTドコモ)

「おわりに」

伊藤 公平 (慶大)

<https://www.jsap.or.jp/columns-covid19>

お問い合わせ先：応用物理学会 五十嵐周 igarashi@jsap.or.jp

